

報告事項

R6.11.5
長野県健康福祉部 保健・疾病対策課

令和6年度 「がんと向き合う週間」の実施報告

県では、「長野県がん対策推進条例」において
毎年10月15日からの一週間を「がんと向き合う週間」と定めている。

取組内容

◆ がん検診の受診率向上に向けた取組

(1) 保健・疾病対策課

- ・がん検診啓発ポケットティッシュの配布
- ・マンモグラフィ検診車の見学会
- ・大腸がん検診啓発用リーフレット、ポスター、トイレットペーパーの配布

(2) 保健福祉事務所

- ・地域のイベントでポスターを掲示し、チラシ、リーフレット等を配布
- ・管内のがん対策推進企業連携協定締結企業にポスター及び市町村がん検診日程カレンダーの配布
- ・地域のスーパーで啓発物品（リーフレット、トイレットペーパー等）を配布
- ・合同庁舎内放送による職員向け啓発
- ・がん予防研修会の開催

◆ がんとの共生のための取組

がん経験者 笠井 信輔氏（フリーアナウンサー）による講演

※マンモグラフィ検診車の見学会及び笠井氏の講演会は10月19日（土）から20日（日）に開催されたチャリティイベント「リレー・フォー・ライフ・ジャパン信州長野」内の企画として実施。

がん検診啓発ポケットティッシュの配布

- ◆ がん検診の受診啓発ポケットティッシュをリレー・フォー・ライフ・ジャパン信州長野の会場及び保健所による街頭啓発活動時に配布。



配布したポケットティッシュ

マンモグラフィ検診車見学会

- ◆ 「リレー・フォー・ライフ・ジャパン信州長野」内の企画として実施。
- ◆ がん検診の受診率向上のため、長野県健康づくり事業団と連携し、これまで検診を受けたことのない女性や久しく受診していない女性等を対象に、検診車内の見学や、検診の手順について乳がん検診に携わる職員が説明を実施。

見学された方にはアルクマハンカチをプレゼント。



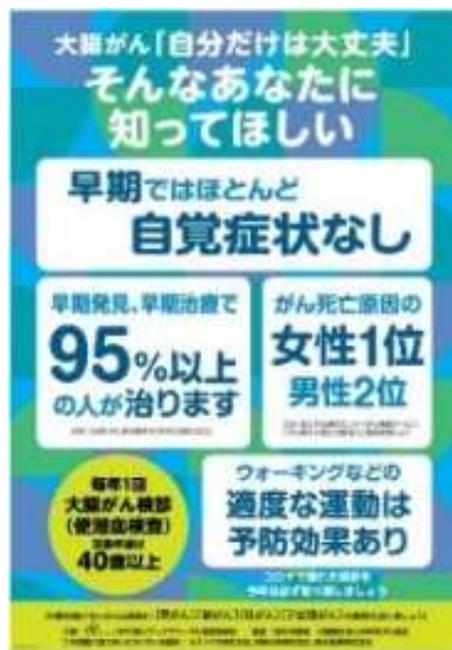
見学者に説明する職員



見学会に使用させていただいた検診車

大腸がんについて

- ◆ 協定企業、市町村、保健所での啓発資材（ポスター、データ約1,600枚分、冊子約5,000部、大腸がん撲滅トイレトーパー1,200ロール）を配布し、週間に合わせた啓発を実施。



その他

◆ がん予防研修会の開催。

がん予防研修会とは、がんに対する正しい知識を身につけ、予防方法や検診の必要性を理解するとともに、周囲にもその内容を広めていただくことを目的に開催している。対象者は、企業、県民等。

講習の様子を撮影した動画データと資料を提供して視聴してもらおうが、保健福祉事務所の保健師を派遣して講習を実施することもある。

令和5年度の実績

開催回数 9回（うち対面開催は4回）

参加者数 258名

利用団体

- ・長野県がん対策推進企業等連携協定締結企業の従業員
- ・介護予防施設の利用者等

